



平成 25 年 12 月 10 日

各 位

会 社 名 川田テクノロジーズ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 川田 忠裕  
(コード番号 3443 東証第 1 部)  
問合せ先 経理部長 宮田 謙作  
(TEL. 03-3915-7632)

(訂正・数値データ訂正)「平成 26 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の  
一部訂正について

当社は、平成 25 年 12 月 2 日付の当社適時開示「過年度決算修正による見込みの概要および  
決算発表予定日について」でお知らせしましたとおり、過年度決算短信の訂正作業を進めてま  
いりました。

このたび、平成 25 年 8 月 8 日付「平成 26 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連  
結)」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせします。

訂正箇所が多数に上るため、訂正前および訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下  
線    を付して表示しています。

以 上

【訂正後】



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月8日

上場会社名 川田テクノロジーズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3443 URL http://www.kawada.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)川田 忠裕  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 (氏名)渡邊 敏 TEL 03-3915-7722  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	18,151	△13.5	△723	—	△890	—	△887	—
25年3月期第1四半期	20,975	10.9	591	—	336	△30.5	316	△49.2

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △710百万円(—%) 25年3月期第1四半期 241百万円(△61.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
26年3月期第1四半期	円 銭 <u>△155.74</u>	円 銭 —
25年3月期第1四半期	<u>55.58</u>	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
26年3月期第1四半期	百万円 <u>90,565</u>	百万円 <u>29,004</u>	% <u>31.8</u>
25年3月期	<u>93,258</u>	<u>29,886</u>	<u>31.8</u>

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 28,818百万円 25年3月期 29,673百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 30.00	円 銭 30.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,000	2.7	1,000	△51.0	700	△66.4	500	△64.6	87.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

26年3月期1Q	5,781,070株	25年3月期	5,781,070株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	82,716株	25年3月期	82,641株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年3月期1Q	5,698,379株	25年3月期1Q	5,698,960株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
4. 補足情報 .....	10
受注、販売及び繰越高の状況 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による金融緩和や景気対策への期待の高まりから円安や株価上昇など景気の持ち直しの動きが出てきたものの、欧州の財務不安や新興国の経済成長鈍化などの要因により、先行きが不透明なまま推移しています。

建設業界につきましては、大型補正予算に支えられた公共工事の増加が見込まれ、民間工事につきましても下げ止まり感があるものの、受注競争の激化に加え、資材価格の高騰や人件費の上昇などが顕在化しており、厳しい経営環境が続いています。

このような状況のもと、当社グループは採算性を重視した受注の確保に注力するとともに、収益力の強化に向け、コスト削減、経費節減等に取り組んでいます。

当社グループの当第1四半期連結累計期間における業績は、受注高は22,161百万円（前年同四半期比88.7%増）、売上高は18,151百万円（前年同四半期比13.5%減）となりました。

収益面につきましては、営業損失723百万円（前年同四半期は営業利益591百万円）、経常損失890百万円（前年同四半期は経常利益336百万円）、四半期純損失887百万円（前年同四半期は四半期純利益316百万円）の計上となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。（セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載しています。）

## （鉄構セグメント）

鉄構セグメントにおきましては、当第1四半期の売上に寄与する年度繰越工事が少なかったことにより、売上高は8,908百万円（前年同四半期比18.9%減）と前年実績を下回りました。収益面では、昨年の高層鉄骨などの受注減少、価格競争の激化による低採算の工事が増加したことにより38百万円の営業損失（前年同四半期は営業利益840百万円）となりました。

## （土木セグメント）

土木セグメントにおきましては、売上高は5,435百万円（前年同四半期比5.7%減）と前年度と比較しますと僅かに減少となりました。収益面では、コスト削減等の収益改善に努めましたが、149百万円の営業損失（前年同四半期は営業利益1百万円）となりました。

## （建築セグメント）

建築セグメントにおきましては、当第1四半期の売上に寄与する年度繰越工事が少なかったことにより、売上高は2,231百万円（前年同四半期比22.1%減）となりました。収益面では、原価低減に努めましたが、売上高減少による影響もあり採算を確保するには至らず72百万円の営業損失（前年同四半期は営業利益17百万円）となりました。

## （その他）

その他におきましては、売上高は2,022百万円（前年同四半期比15.9%増）となりました。収益面では、連結各社において販売費及び一般管理費の削減に努めましたが、125百万円の営業損失（前年同四半期は営業損失71百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間における「資産の部」は、90,565百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,693百万円(△2.9%)減少しました。これは主に売上高の減少及び工事債権の回収が進んだことにより、現金預金が2,387百万円増加したこと及び受取手形・完成工事未収入金等が5,493百万円減少したことによるものであります。

また、「負債の部」は、61,560百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,812百万円(△2.9%)減少しました。これは主に工事出来高の減少により支払手形・工事未払金等が1,232百万円減少したことによるものであります。

一方、「純資産の部」は29,004百万円となり、前連結会計年度末に比べ881百万円(△3.0%)減少しました。これは主に当第1四半期連結会計期間の四半期純損失を計上したことによるものであります。この結果、自己資本比率は31.8%となり前連結会計年度末から変動はありません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点で合理的に把握出来るものを反映した結果、通期業績予想につきましては、平成25年5月10日公表の連結業績予想の内容と変更ございません。なお、今後何らかの変化が認識された場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金預金	6,687	9,074
受取手形・完成工事未収入金等	32,391	26,897
未成工事支出金	1,085	1,338
その他のたな卸資産	868	903
繰延税金資産	51	55
その他	1,829	1,669
貸倒引当金	△61	△63
流動資産合計	42,852	39,876
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物・構築物（純額）	4,904	4,856
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	1,313	1,277
航空機（純額）	1,510	1,571
土地	16,589	16,589
リース資産（純額）	2,267	2,173
建設仮勘定	62	254
有形固定資産合計	26,648	26,723
無形固定資産	768	755
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	931	908
関係会社株式	20,116	20,352
長期貸付金	497	494
その他	2,232	2,248
貸倒引当金	△795	△798
投資その他の資産合計	22,982	23,205
固定資産合計	50,399	50,684
<b>繰延資産</b>		
創立費	7	4
繰延資産合計	7	4
<b>資産合計</b>	<b>93,258</b>	<b>90,565</b>

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	19,210	17,977
短期借入金	9,503	8,034
1年内返済予定の長期借入金	6,218	6,316
1年内償還予定の社債	210	210
未払法人税等	179	24
未成工事受入金	3,946	4,137
賞与引当金	952	449
完成工事補償引当金	92	89
工事損失引当金	1,807	1,713
損害補償損失引当金	208	208
資産除去債務	5	5
その他	3,314	3,923
流動負債合計	45,650	43,091
固定負債		
社債	525	505
長期借入金	9,391	10,688
繰延税金負債	23	13
再評価に係る繰延税金負債	1,936	1,936
退職給付引当金	3,298	3,175
役員退職慰労引当金	284	259
資産除去債務	149	149
負ののれん	267	262
その他	1,847	1,478
固定負債合計	17,722	18,469
負債合計	63,372	61,560
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	10,368	10,368
利益剰余金	13,794	12,736
自己株式	△277	△277
株主資本合計	28,885	27,827
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	135	338
土地再評価差額金	418	418
為替換算調整勘定	234	234
その他の包括利益累計額合計	787	991
少数株主持分	212	185
純資産合計	29,886	29,004
負債純資産合計	93,258	90,565

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	20,975	18,151
売上原価	19,061	17,453
売上総利益	1,913	698
販売費及び一般管理費	1,322	1,421
営業利益又は営業損失(△)	591	△723
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	20	19
受取賃貸料	52	46
負ののれん償却額	5	5
持分法による投資利益	—	13
貸倒引当金戻入額	3	—
補助金収入	—	45
その他	37	16
営業外収益合計	121	148
営業外費用		
支払利息	192	179
賃貸費用	127	124
持分法による投資損失	38	—
その他	17	12
営業外費用合計	376	316
経常利益又は経常損失(△)	336	△890
特別利益		
固定資産売却益	5	—
保険差益	1	—
その他	0	0
特別利益合計	7	0
特別損失		
固定資産除却損	2	2
ゴルフ会員権評価損	12	—
退職特別加算金	5	—
その他	1	0
特別損失合計	21	2
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	322	△893
法人税、住民税及び事業税	21	25
法人税等調整額	△3	△5
法人税等合計	17	20
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	304	△913
少数株主損失(△)	△12	△25
四半期純利益又は四半期純損失(△)	316	△887

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	304	△913
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△68	△19
持分法適用会社に対する持分相当額	5	222
その他の包括利益合計	△62	202
四半期包括利益	241	△710
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	254	△684
少数株主に係る四半期包括利益	△13	△26

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	10,801	5,706	2,851	19,359	1,615	20,975
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	182	57	12	252	128	381
計	10,984	5,763	2,863	19,611	1,744	21,356
セグメント利益又は損失(△)	840	1	17	859	△71	788

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発・販売、航空、補修、その他機械の販売、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	859
「その他」の区分の損失(△)	△71
セグメント間取引消去	44
全社費用(注)	△269
その他の調整額	27
四半期連結損益計算書の営業利益	591

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	8,704	5,325	2,231	16,260	1,890	18,151
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	204	110	—	314	131	446
計	8,908	5,435	2,231	16,575	2,022	18,597
セグメント利益又は損失(△)	△38	△149	△72	△259	△125	△385

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発・販売、航空、補修、その他機械の販売、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△259
「その他」の区分の損失(△)	△125
セグメント間取引消去	14
全社費用(注)	△355
その他の調整額	3
四半期連結損益計算書の営業利益	△723

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

受注、販売及び繰越高の状況

(1) 受注高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	3,876	33.0	7,120	32.1	3,244	83.7
土木	1,584	13.5	8,297	37.5	6,712	423.6
建築	4,070	34.6	4,233	19.1	163	4.0
その他	2,214	18.9	2,510	11.3	295	13.4
合計	11,745	100.0	22,161	100.0	10,416	88.7

(2) 販売高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	10,984	51.4	8,908	47.9	△2,075	△18.9
土木	5,763	27.0	5,435	29.2	△328	△5.7
建築	2,863	13.4	2,231	12.0	△632	△22.1
その他	1,744	8.2	2,022	10.9	277	15.9
合計	21,356	100.0	18,597	100.0	△2,758	△12.9

(3) 次期繰越高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第1四半期 連結会計期間末 (平成24年6月30日)		当第1四半期 連結会計期間末 (平成24年6月30日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	37,546	52.3	44,228	52.9	6,681	17.8
土木	25,135	35.1	28,080	33.6	2,945	11.7
建築	7,794	10.9	9,816	11.8	2,022	26.0
その他	1,244	1.7	1,447	1.7	202	16.3
合計	71,720	100.0	83,572	100.0	11,851	16.5

(注) セグメント間の取引については、相殺消去していません。

【訂正前】



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月8日

上場会社名 川田テクノロジーズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3443 URL http://www.kawada.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)川田 忠裕  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 (氏名)渡邊 敏 TEL 03-3915-7722  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	18,151	△13.5	△723	—	△872	—	△868	—
25年3月期第1四半期	20,975	10.9	591	—	646	319.5	626	190.9

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △692百万円(—%) 25年3月期第1四半期 551百万円(148.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
26年3月期第1四半期	円 銭 △152.47	円 銭 —
25年3月期第1四半期	円 銭 110.00	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
26年3月期第1四半期	百万円 89,510	百万円 27,592	% 30.7
25年3月期	百万円 92,191	百万円 28,456	% 30.7

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 27,437百万円 25年3月期 28,274百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 30.00	円 銭 30.00
26年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
26年3月期(予想)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 30.00	円 銭 30.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,000	2.7	1,000	△51.0	700	△57.0	500	△47.6	87.74

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

26年3月期1Q	5,781,070株	25年3月期	5,781,070株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	82,716株	25年3月期	82,641株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年3月期1Q	5,698,379株	25年3月期1Q	5,698,960株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
4. 補足情報 .....	10
受注、販売及び繰越高の状況 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による金融緩和や景気対策への期待の高まりから円安や株価上昇など景気の持ち直しの動きが出てきたものの、欧州の財務不安や新興国の経済成長鈍化などの要因により、先行きが不透明なまま推移しています。

建設業界につきましては、大型補正予算に支えられた公共工事の増加が見込まれ、民間工事につきましても下げ止まり感があるものの、受注競争の激化に加え、資材価格の高騰や人件費の上昇などが顕在化しており、厳しい経営環境が続いています。

このような状況のもと、当社グループは採算性を重視した受注の確保に注力するとともに、収益力の強化に向け、コスト削減、経費節減等に取り組んでいます。

当社グループの当第1四半期連結累計期間における業績は、受注高は22,161百万円（前年同四半期比88.7%増）、売上高は18,151百万円（前年同四半期比13.5%減）となりました。

収益面につきましては、営業損失723百万円（前年同四半期は営業利益591百万円）、経常損失872百万円（前年同四半期は経常利益646百万円）、四半期純損失868百万円（前年同四半期は四半期純利益626百万円）の計上となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。（セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載しています。）

## （鉄構セグメント）

鉄構セグメントにおきましては、当第1四半期の売上に寄与する年度繰越工事が少なかったことにより、売上高は8,908百万円（前年同四半期比18.9%減）と前年実績を下回りました。収益面では、昨年の高層鉄骨などの受注減少、価格競争の激化による低採算の工事が増加したことにより38百万円の営業損失（前年同四半期は営業利益840百万円）となりました。

## （土木セグメント）

土木セグメントにおきましては、売上高は5,435百万円（前年同四半期比5.7%減）と前年度と比較しますと僅かに減少となりました。収益面では、コスト削減等の収益改善に努めましたが、149百万円の営業損失（前年同四半期は営業利益1百万円）となりました。

## （建築セグメント）

建築セグメントにおきましては、当第1四半期の売上に寄与する年度繰越工事が少なかったことにより、売上高は2,231百万円（前年同四半期比22.1%減）となりました。収益面では、原価低減に努めましたが、売上高減少による影響もあり採算を確保するには至らず72百万円の営業損失（前年同四半期は営業利益17百万円）となりました。

## （その他）

その他におきましては、売上高は2,022百万円（前年同四半期比15.9%増）となりました。収益面では、連結各社において販売費及び一般管理費の削減に努めましたが、125百万円の営業損失（前年同四半期は営業損失71百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間における「資産の部」は、89,510百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,680百万円(△2.9%)減少しました。これは主に売上高の減少及び工事債権の回収が進んだことにより、現金預金が2,387百万円増加したこと及び受取手形・完成工事未収入金等が5,493百万円減少したことによるものであります。

また、「負債の部」は、61,918百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,817百万円(△2.9%)減少しました。これは主に工事出来高の減少により支払手形・工事未払金等が1,232百万円減少したことによるものであります。

一方、「純資産の部」は27,592百万円となり、前連結会計年度末に比べ863百万円(△3.0%)減少しました。これは主に当第1四半期連結会計期間の四半期純損失を計上したことによるものであります。この結果、自己資本比率は30.7%となり前連結会計年度末から変動はありません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点で合理的に把握出来るものを反映した結果、通期業績予想につきましては、平成25年5月10日公表の連結業績予想の内容と変更ございません。なお、今後何らかの変化が認識された場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金預金	6,687	9,074
受取手形・完成工事未収入金等	32,391	26,897
未成工事支出金	1,085	1,338
その他のたな卸資産	868	903
繰延税金資産	51	55
その他	1,829	1,669
貸倒引当金	△61	△63
流動資産合計	42,852	39,876
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物・構築物（純額）	4,904	4,856
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	1,313	1,277
航空機（純額）	1,510	1,571
土地	16,589	16,589
リース資産（純額）	2,267	2,173
建設仮勘定	62	254
有形固定資産合計	26,648	26,723
<b>無形固定資産</b>	768	755
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	931	908
関係会社株式	19,049	19,298
長期貸付金	497	494
その他	2,232	2,248
貸倒引当金	△795	△798
投資その他の資産合計	21,915	22,151
固定資産合計	49,331	49,629
<b>繰延資産</b>		
創立費	7	4
繰延資産合計	7	4
<b>資産合計</b>	<b>92,191</b>	<b>89,510</b>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	19,210	17,977
短期借入金	9,503	8,034
1年内返済予定の長期借入金	6,218	6,316
1年内償還予定の社債	210	210
未払法人税等	179	24
未成工事受入金	3,946	4,137
賞与引当金	952	449
完成工事補償引当金	92	89
工事損失引当金	1,807	1,713
損害補償損失引当金	208	208
資産除去債務	5	5
その他	3,314	3,923
流動負債合計	45,650	43,091
固定負債		
社債	525	505
長期借入金	9,391	10,688
繰延税金負債	96	87
再評価に係る繰延税金負債	1,936	1,936
退職給付引当金	3,298	3,175
役員退職慰労引当金	284	259
資産除去債務	149	149
負ののれん	556	546
その他	1,847	1,478
固定負債合計	18,084	18,826
負債合計	63,735	61,918
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	10,368	10,368
利益剰余金	12,630	11,591
自己株式	△277	△277
株主資本合計	27,721	26,681
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	134	337
土地再評価差額金	418	418
その他の包括利益累計額合計	553	756
少数株主持分	181	154
純資産合計	28,456	27,592
負債純資産合計	92,191	89,510

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	20,975	18,151
売上原価	19,061	17,453
売上総利益	1,913	698
販売費及び一般管理費	1,322	1,421
営業利益又は営業損失(△)	591	△723
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	20	19
受取賃貸料	52	46
負ののれん償却額	10	10
持分法による投資利益	266	26
貸倒引当金戻入額	3	—
補助金収入	—	45
その他	37	16
営業外収益合計	392	167
営業外費用		
支払利息	192	179
賃貸費用	127	124
その他	17	12
営業外費用合計	337	316
経常利益又は経常損失(△)	646	△872
特別利益		
固定資産売却益	5	—
保険差益	1	—
その他	0	0
特別利益合計	7	0
特別損失		
固定資産除却損	2	2
ゴルフ会員権評価損	12	—
退職特別加算金	5	—
その他	1	0
特別損失合計	21	2
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	632	△874
法人税、住民税及び事業税	21	25
法人税等調整額	△3	△5
法人税等合計	17	20
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	614	△894
少数株主損失(△)	△12	△25
四半期純利益又は四半期純損失(△)	626	△868

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	614	△894
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△68	△19
持分法適用会社に対する持分相当額	5	222
その他の包括利益合計	△62	202
四半期包括利益	551	△692
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	564	△665
少数株主に係る四半期包括利益	△13	△26

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	10,801	5,706	2,851	19,359	1,615	20,975
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	182	57	12	252	128	381
計	10,984	5,763	2,863	19,611	1,744	21,356
セグメント利益又は損失(△)	840	1	17	859	△71	788

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発・販売、航空、補修、その他機械の販売、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	859
「その他」の区分の損失(△)	△71
セグメント間取引消去	44
全社費用(注)	△269
その他の調整額	27
四半期連結損益計算書の営業利益	591

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	8,704	5,325	2,231	16,260	1,890	18,151
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	204	110	—	314	131	446
計	8,908	5,435	2,231	16,575	2,022	18,597
セグメント利益又は損失(△)	△38	△149	△72	△259	△125	△385

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発・販売、航空、補修、その他機械の販売、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△259
「その他」の区分の損失(△)	△125
セグメント間取引消去	14
全社費用(注)	△355
その他の調整額	3
四半期連結損益計算書の営業利益	△723

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

受注、販売及び繰越高の状況

(1) 受注高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	3,876	33.0	7,120	32.1	3,244	83.7
土木	1,584	13.5	8,297	37.5	6,712	423.6
建築	4,070	34.6	4,233	19.1	163	4.0
その他	2,214	18.9	2,510	11.3	295	13.4
合計	11,745	100.0	22,161	100.0	10,416	88.7

(2) 販売高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	10,984	51.4	8,908	47.9	△2,075	△18.9
土木	5,763	27.0	5,435	29.2	△328	△5.7
建築	2,863	13.4	2,231	12.0	△632	△22.1
その他	1,744	8.2	2,022	10.9	277	15.9
合計	21,356	100.0	18,597	100.0	△2,758	△12.9

(3) 次期繰越高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第1四半期 連結会計期間末 (平成24年6月30日)		当第1四半期 連結会計期間末 (平成24年6月30日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	37,546	52.3	44,228	52.9	6,681	17.8
土木	25,135	35.1	28,080	33.6	2,945	11.7
建築	7,794	10.9	9,816	11.8	2,022	26.0
その他	1,244	1.7	1,447	1.7	202	16.3
合計	71,720	100.0	83,572	100.0	11,851	16.5

(注) セグメント間の取引については、相殺消去していません。